

トピックス

★ 2022年入社組 学部生による就活体験発表会

★ 第5回講義：公務員試験合格への道

国立大学法人
東京海洋大学・キャリア支援センター
電話：03-5463-4269
Email：career@m.kaiyodai.ac.jp
https://www.kaiyodai.ac.jp/campus-cms/syusyokushien/

※このNewsletterは、東京海洋大学キャリア支援センターが作成・配信しています。
キャリア開発に関するイベントのお知らせや活動報告等をお届けしています。

「志望企業への内定を決めた学部生たちが語る！」

令和3年10月20日(水)～11月30日(火) オンデマンドで開催

～企業選びで決め手となったこと 就活で本当に役立ったこと～

※ 小澤 柚香さん (BC4) 大手食品素材メーカー

就活は公務員試験と民間企業を両立。学部3年の夏休みから公務員筆記試験対策をスタートした。内定企業との出会いは海洋大主催の合同説明会なので後輩にも薦めたい。説明会や日頃の情報収集でビジョンを明確にして就活に臨んだ。



※ 後藤 勇輝さん (BC4) 大手食品会社

3年の10月頃から食品業界を中心に就活スタート。自己分析と食品業界研究を徹底的に行い、自分と食品に関する質問なら100%答えられる自信を持ち、面接に臨んだ。就活は情報戦と捉え、スマホアプリや書籍、ウェブサイトを活用した。



※ 大屋 那美さん (BC4) 政府系金融機関

3年の11月頃、内定先の座談会に参加。コロナ禍だからこそ初期の座談会参加やOBOG訪問が役立ったと実感している。エントリーシート作成では友達・先輩・先生等に積極的に意見をもらい、自分の言いたいことが伝わるか確認した。



※ 粕谷 冴子さん (BC4) 大手水産会社

インターンシップ応募は2年生の3月頃。公務員か民間企業かを決めるために水産庁のインターンシップに参加した。早めの行動で選択肢を広げたことが納得いく就活につながった。大きな組織で自分の強みを見つけ生かせる働き方を目指したい。



※ 近藤 竜也さん (BC4) 大手物流会社

物流業界に絞って早期選考につながるインターンシップの参加。就活には綿密なスケジュール管理と、面接を通してコミュニケーションをとるという意識で臨んだ。就活は大きく成長できる機会、後輩達も良いチャレンジと思い頑張りたい。



※ 湯浅 翔太さん (BC4) 大手倉庫会社

物流の中核を担う倉庫業に興味を持ち、第一志望企業より内定を得た。自分の性格を見極めつつ、最後まで諦めずに就活に臨むことができた。オンライン選考では1日に3回の面接も経験。自分なりのストレス解消法で乗り切ることができた。



※ 染矢 翔太郎さん (BC4) エネルギー（電気）

部活動を継続し、大学院進学も視野に入れながら就職活動に臨んだ。3年生の冬インターンは参加できなかったが、自己分析と業界研究を万全にして、明確な目標を持ち就活に臨んだ。難題から逃げず試行錯誤した経験が役立った。



● 第5回 高度専門キャリア形成論

「公務員試験に合格した学部生・院生たちが語る！」

令和3年10月8日～11日 オンライン授業 (受講生53名)



『公務員への道と試験対策』を東海 正教授（学術研究院 海洋生物資源学部門）より講義いただきました

国家公務員試験専門委員を務められた経験から、試験合格への対策を詳しく解説いただきました。対策は大学の学びを基盤として、水産海洋ハンドブック、水産白書をマスターすることが必須。東海先生主催の『水産白書読み合わせ会』は毎年大好評で、合格者の多くがその講義を受けています。
★今年度の詳細は、後日キャリア支援センターよりメールでお知らせします★

※ 戸根 力さん (BC4) 国家公務員総合職：水産庁

釣りなどの趣味や、大学の授業を通して公的な水産資源の管理と海洋環境の保全に興味を持ち、卒業後の進路は公務員と決めていた。就活では自分のやりたいことを明確にして、いかに志望先と合っているかを重視した。将来取り組みたいことを具体的にどの部署で、どのようにやりたいとアピールしたことが合格の決め手となったと考えている。



※ 三箇 真弘さん (BC4) 地方公務員：富山県庁（水産職）

就活を意識したのは3年前期。絶対にここで働くという強い意志を持ち、万全の準備で就活に臨んだ。面接の基となる面接カードは早めを書いて推敲し、面接練習では仕事に対する熱意を自分の言葉で伝えることを意識。本番には自信を持って臨めた。公務員試験は長期戦であり、家族や友達、先生と協力したことが合格につながったと考える。



※ 大溪 敦裕さん (MC2) 地方公務員：愛知県庁（水産職）

幼い頃から憧れていた公務員に向けて、計画的に就活に臨んだ。MC1年の時に筆記試験を受験、出題傾向を分析して勉強を進めた。水産系公務員として活躍する多くの先輩に体験談や失敗談を聞き、面接カードを添削してもらうことができた。民間企業と公務員、両方の就活をしたからこそ将来のビジョンを明確にできたと考えている。



※ 藤野 くるみさん (MC2) 水産研究・教育機構(研究開発職)

大手民間企業と公務員・研究機構の併願で就活に臨んだ。公務員を考えるようになったのは自分の性格と、出来ればずっと生き物の研究に関わって生きていきたいという思いから。海洋生物とその周辺に対する平日の興味、ミクロからマクロまで多角的に研究に向き合う自分のモットーを語れたことが、合格の決め手になったと思う。



※ 福丸 璃子さん (MC2) 新エネルギー・産業技術総合開発機

就活を意識したのはMC1年6月頃。目先の利益に捉われることなく、社会に大きな影響を与えられることに魅力を感じて独立行政法人を目指した。幼少期から自然環境や野生動物に興味があり、環境問題の解決に繋がる仕事に携わりたかった。幅広く業界・職種を見て、その中から自分のやりたいこと・自分に合うものを選ぶことが重要と考える。



共通項は徹底した自己分析と応募先の情報収集。面接に向けて繰り返した練習が自信につながったこと、周囲の力を借りたことも印象的でした。公務員か民間企業かという二択ではなく、自分が目指す仕事を熱く語る皆さんに感動しました。(キャリア支援センター 服部)

キャリア支援センターは皆さんの納得いく進路選択に向けた支援をしています。キャリア面談希望のご予約はHPをご覧ください。(特任教授 塩谷 和美・特任准教授 服部 典子)

https://www.kaiyodai.ac.jp/campus-cms/syusyokushien/

HPIはこちら⇒

